

NIH Stroke Scale (NIHSS)

Based on article by Lyden P, et al. Stroke 1994; 25 (11):2220-6

監修：大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学 寄附講座教授 森 悦朗

協和キリン

NIH Stroke Scale (NIHSS)

Based on article by Lyden P, et al. Stroke 1994; 25 (11): 2220-6

監修：大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学 寄附講座教授 森 悦朗

記入上の注意点

- リストの順に施行すること。
- 各検査項目施行直後にその結果を記録する。
- 逆に行ったり評点を変更してはならない。
- 各検査の行い方についての指示に従う。
- 評点は患者がなしたことを反映するのであって、患者ができらうと医師が推測したことを反映するのではない。
- 検査を施行している間に記録すること。
- 特に指示されている部分以外では、患者を誘導してはならない(すなわち、何度も命令を繰り返すと患者は特別に努力をしてしまう)。
- いずれかの項目が実施されなかった場合は、その理由を明白に説明しておく。

NIH Stroke Scale (NIHSS)

患者名: _____

評価日時: _____

評価者: _____

		スコア				メモ	
1a.意識水準	0: 完全覚醒 1: 簡単な刺激で覚醒 2: 繰り返し刺激、強い刺激で覚醒 3: 完全に無反応	0	1	2	3		
1b.意識障害—質問 (今月の月名及び年齢)	0: 両方正解 1: 片方正解 2: 両方不正解	0	1	2			
1c.意識障害—従命 (開閉眼、「手を握る・開く」)	0: 両方可 1: 片方可 2: 両方不可	0	1	2			
2.最良の注視	0: 正常 1: 部分的注視麻痺 2: 完全注視麻痺	0	1	2			
3.視 野	0: 視野欠損なし 1: 部分的半盲 2: 完全半盲 3: 両側性半盲	0	1	2	3		
4.顔面麻痺	0: 正常 1: 軽度の麻痺 2: 部分的麻痺 3: 完全麻痺	0	1	2	3		
5.上肢の運動(左) *仰臥位のときは45度左上肢 N: 切断、関節癒合	0: 90度*を10秒間保持可能(下垂なし) 1: 90度*を保持できるが、10秒以内に下垂 2: 90度*の拳上または保持ができない 3: 重力に抗して動かない 4: 全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
上肢の運動(右) *仰臥位のときは45度右上肢 N: 切断、関節癒合	0: 90度*を10秒間保持可能(下垂なし) 1: 90度*を保持できるが、10秒以内に下垂 2: 90度*の拳上または保持ができない 3: 重力に抗して動かない 4: 全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
6.下肢の運動(左) N: 切断、関節癒合	0: 30度を5秒間保持できる(下垂なし) 1: 30度を保持できるが、5秒以内に下垂 2: 重力に抗して動きがみられる 3: 重力に抗して動かない 4: 全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
下肢の運動(右) N: 切断、関節癒合	0: 30度を5秒間保持できる(下垂なし) 1: 30度を保持できるが、5秒以内に下垂 2: 重力に抗して動きがみられる 3: 重力に抗して動かない 4: 全く動きがみられない	0	1	2	3	4	N
7.運動失調 N: 切断、関節癒合	0: なし 1: 1肢 2: 2肢	0	1	2			N
8.感 覚	0: 障害なし 1: 軽度から中等度 2: 重度から完全	0	1	2			
9.最良の言語	0: 失語なし 1: 軽度から中等度 2: 重度の失語 3: 無言、全失語	0	1	2	3		
10.構音障害 N: 挿管または身体的障壁	0: 正常 1: 軽度から中等度 2: 重度	0	1	2			N
11.消去現象と注意障害	0: 異常なし 1: 視覚、触覚、聴覚、視空間、または自己身体に対する不注意、あるいは1つの感覚様式で2点同時刺激に対する消去現象 2: 重度の半側不注意あるいは2つ以上の感覚様式に対する半側不注意	0	1	2			
スコア×個数		1×	2×	3×	4×		
		個	個	個	個		
スコア小計							

記入日: 年 月 日

スコア合計 /

制作：シュプリンガー・ジャパン株式会社
シュプリンガー・ヘルスケア

協和キリン株式会社
<https://medical.kyowakirin.co.jp>

KK-16-04-13929(1904)
ACT0004C16E
2019年7月作成